

1

体温

空想

化ける

4

投げた

5

向上

6

柱

2

1

そうじ

2 A

デ

B

感

C

し

3

(記述題)

4

ウ

5

エ

2

ウ

3

イ

6

ア

(5 完 答)

3

1 A

イ

B

ム

C

ど

D

ア

2

ちよだけ

8 B

もう描きはじ

9

アウ

(9 順不同・完 答)

7

ひかえめ

8 A

自己主張

2

3

あこがれの神田風太くんと同じ班にな
ったから。

(同意可)

6

どこま

7 A

あゝる

B

エ

3

あいまい

4

砂山

5

テレビ

8 ア

2

イ

1

配 点

1・22・31

各2点×13=26点

23

6点

その他

各4点×17=68点

〈計〉100点

1

- 1 「体」は「休」と間違えないように。「温」の右下は「皿」である。
- 2 「想」は「相」と間違えないように。「心」がついているのだから、おもうことである。
- 3 「化」は「かわる」意味を表すことを知っておこう。
- 4 「投」は右上が「ハ」にならないように書く。
- 5 「向」の総画数は六画。一画目の「ノ」と二画目の「一」は分けて書く。
- 6 「柱」は「主」の上の点の打ち方に注意。「主」が「チュウ」という音を表す。「注」も「チュウ」と読む。

2

- 1 物語文の場面分けは「時間」「場所」「人物」の変わりめを手がかりにする。「班決め」の時間と「そうじ」の時間で分かれる。
- 2 A「アイデア」は思いつき。B「感心」はりっぱなことやすぐれたことに心を動かされること。C「首をかしげる」は疑問に思うさまを表す。
- 3 後ろに「だって」からとあるため、ここが理由の説明である。五人の名前が並んでいるが、最後に「そして」とあり、一人だけフルネームでもあることから、「神田風太くん」が同じ班にすることが理由であると分かる。ただしなぜ神田くんがいたら気持ちが悪くなるのかも説明する必要がある。少し後に「やっぱりすごいな」や「神田くんを尊敬する気持ち」が、ますます大きくなりました」とあることから、しおりは以前から神田くんのことを好ましく思っていたのだと考えられる。
- 4 I「すぐに班長に決まった」ということは、みんなの支持が集まった、ということである。本文後半で内田さんも神田くんを好意的にとらえていることが読み取れただろうか。II「みんなの顔を見まわ」すという行動は、反対する人などがいないか、みんなの様子をうかがうためのものである。
- 5 1「あっさり」は少し後の「文句ひとつ言うことなく」という部分と結びつく。2「けっして」は後の「とはちがう」と呼応する。3「ただ」は後の「好きなだけ」と結びつく。
- 6 小学生女子どうしの人間関係を読み取りたい。アの「仲良し」は――線②までの間に示されていた。「やさしい」はリリカちゃんをゆずった場面と対応する。「陰口を聞くのはいやだ」は「なんであんなふうに言うんだろう……」と、「対立する勇気もない」は「ごまかして逃げてしまった」と、それぞれ対応する。
- 7 少し後に「べつにひかえめな性格ってわけじゃないし……」とある。ここまでに「ひかえめ」ということばを見聞きしていると分かる。
- 8 A「自己主張」の意味を知らなくとも、少し前に「リリカちゃんはちゃんと自己主張ができる」とあることから推測できる。B「しおりはそう思いましたが、仲良しのリリカちゃんがジャンケンと言っているのに、あみだくじでいいとは言えません」とある。細部の表現を大切に読もう。
- 9 少し前に「それに」とあり、その前後で二つの内容が並べられている。一つめの「自分」がなさけなくて、がっかりです」までがア、二つめの「そんな気持ち」は、だれにも言えません」までがウの内容である。

3

- 1 A「用」が「もちいる」であることから推測できる。D「いささか」のような和語は字から推測することが難しいため、見聞きするたびに意味を確認するようにしよう。B「スムーズ」はなめらかにものごとが運ぶさま。C「もどかしい」は思うようにならないという事。
- 2 「こちら」もとあるので、ここまでのことばがはいると考えられる。
- 3 「境目はかなり微妙だ」とあるため、境目がどのようなものかということを表す意味だと分かる。少し後に「あいまいな境界」とある。「境目」と「境界」は同じような意味であるから、「微妙」II「あいまい」である。
- 4 「いつ、砂山は砂山でなくなるのだろうか」がほぼ同じ構造の文である。どちらも境目があいまいであることを示している。テレビを見ていてよい時間、クッキーを食べてよい数、寝ていてよい時間、外出してよい時間、それぞれの境界を、大人が決めている場面である。
- 6 筆者は「丸ごと全部りんごを食べる」という極端な例を出して、「どこまでが味見で、どこから味見でないか」という境界が存在するのだということ息子を分かせようとしている。さがすときには□の後の「か」がヒントになる。
- 7 A「道」が子どもの成長する道であることは問題のなかで示されている。問6からも分かるように、子どもはものごとのあいまいな境界を扱うことに未熟なのである。さがすときには□の後の「ように成長する」がヒントになる。B「楽しい」「怖い」はどちらも、子どもにも親にもあてはまることだろう。子どもにとってはあいまいな境界について学ぶ道のりが、親にとってはその道を進ませる子育ての道のりが、楽しくまた険しいのである。アウ以外にも「成熟するまでに長い時間がかかるから」などもふさわしいだろう。
- 8 ア「わざと」ではなく、まだ幼いため上手く発音できないのである。イ「境界は」の段落に「あらかじめ規則として決められるものでもない」とあった。